

1 会議の日時及び場所

- (1) 日時 平成29年1月30日(月) 午前9時30分～正午
- (2) 場所 花巻市役所本庁舎3階 302会議室

2 出席委員(委員15名 ※全員出席)

岩淵満智子、川村厚、佐藤良介、清水隆太郎、小野タエ子、盛岡耕市、関 喜平、熊谷喜郎、新淵信郎、齊藤洋美、坂本知彌、福盛田弘、阿部善郎、伊藤吉守、曾我紀子

3 事務局(4名)

八重樫総合政策部長、佐藤地域づくり課長、佐々木地域づくり課課長補佐、佐々木地域づくり課地域振興係長

4 説明員(9名)

小原公共施設計画策定室長、藤原公共施設計画策定室次長、瀬川公共施設計画策定室主査、梅原公共施設計画策定室上席主任、伊藤秘書政策課長、高橋秘書政策課課長補佐、赤坂秘書政策課企画調整係長、小原秘書政策課上席主任、佐藤秘書政策課主任

5 傍聴者 1名

6 議事の概要

(開会に先立ち、八重樫総合政策部長から各委員に辞令交付)

- (1) 開会 (地域づくり課長)
- (2) あいさつ(総合政策部長)
- (3) 委員紹介(地域づくり課長)
- (4) 会長及び副会長選出(会長の互選は総合政策部長、副会長選出は会長が進行)
- (5) 協議(会長)
 - ① 花巻市公共施設等総合管理計画について
(説明:小原公共施設計画策定室室長)
 - ② 花巻市まちづくり総合計画第2期中期プランについて
(説明:伊藤秘書政策課長)
 - ③ 辺地総合整備計画について
(説明:伊藤秘書政策課長)
- (6) 閉会 (地域づくり課長)

※ 会議での主な発言内容は別紙のとおり

※ 別紙（平成28年度第1回花巻市地域自治推進委員会での発言内容）

発言者	発言要旨
佐藤地域づくり課長	委員15名全員の出席があり、花巻市地域自治推進委員会条例第5条に規定する半数以上の委員が出席しておりますことから、本委員会は成立しておりますことをご報告いたします。それでは、ただいまから平成28年度第1回花巻市地域自治推進委員会を開会いたします。開会にあたりまして、八重樫総合政策部長よりごあいさつ申し上げます。
八重樫総合政策部長	花巻市地域自治推進委員会委員を承引いただいたことに感謝申し上げます。昨年は宮沢賢治生誕120周年事業や希望郷いわて国体のほか様々なイベントが開催され、多くのお客様に花巻市を訪れていただきました。本年も大迫開町400年ということで、様々なイベントが企画されているところでございます。さて、懸案となっております医療対策に関してですが、一昨年の11月に総合花巻病院からいただいた移転構想案は、昨年の11月末に内容が固まりましたことから、ホームページへの掲載のほか、議員説明会や市民説明会を開催するなど、市民との情報共有を図ってまいりました。今後においては、総合花巻病院の移転も内容に含めた立地適正化計画の推進と、これによって受けられる国からの補助金も活用し、取り組みを進めていくところでございます。本日の委員会では、公共施設等総合管理計画やまちづくり総合計画中期プラン、辺地総合整備計画といった重要な案件についてご意見を頂戴したいと存じますので、よろしく願いいたします。
佐藤地域づくり課長	ここで、本日出席の委員の皆様をご紹介いたします。 （名簿に従って各委員を紹介） 続きまして事務局の紹介をさせていただきます。 （八重樫総合政策部長以下、事務局紹介） それでは、次第の「4 委員長及び副委員長選出」に入らせていただきます。花巻市地域自治推進委員会条例第4条第2項に「会長は会議の議長となる。」と規定しておりますが、委員がかわりまして初めての委員会でありますので、会長が決まるまでの間、八重樫総合政策部長が進行させていただきます。
八重樫総合政策部長	それでは会長が決まるまでの間、私が進行させていただきます。会長は、花巻市地域自治推進委員会条例第4条第1項の規定により、委員の互選となっております。会長の選出方法について、委員の皆様のご意見はありませんか？
坂本委員	推薦による選出でよろしいかと思えます。 （異議なしの声あり）

発言者	発言要旨
八重樫総合政策部長	異議なしとのことで、どなたかを推薦いただきたいと思います。
齊藤委員	会長には岩渕満智子さんがよろしいと思います。
坂本委員	同じく、岩渕満智子さんがよろしいと思います。
八重樫総合政策部長	<p>ただ今、岩渕委員を推薦する声がありましたが、他にご意見はありませんでしょうか？</p> <p>(異議なしの声あり)</p> <p>異議なしとのことです。会長は岩渕委員に決定いたしました。花巻市地域自治推進委員会条例第4条第2項の規定により、会議の議長は会長が行うこととなっておりますので、以降の進行は岩渕会長に行っていただきます。議長交代のため暫時休憩いたします。</p>
岩渕会長	会長に指名いただきました岩渕でございます。委員の皆様の見解をいただきながら努めさせていただきます。よろしくお願いいたします。それでは、副会長の互選を行います。副会長の選出方法につきまして、委員の皆様からご意見はありませんか？
坂本委員	<p>推薦でよろしいかと思えます。川村委員がよろしいかと思えます。</p> <p>(異議なしの声あり)</p>
岩渕会長	<p>川村委員を推薦する声がありましたが、いかがでございましょうか？</p> <p>(異議なしの声あり)</p> <p>異議なしとのことでございますので、副会長は川村委員に決定いたしました。ごあいさついただけますか？</p>
川村副会長	私は市内の認定農業者700名ほどで組織されております花巻市認定農業者協議会の副会長をしております。この組織からの推薦で委員に就いてございます。会長とともに皆様のご協力をいただき、副会長を努めさせていただきます。よろしくお願いいたします。
岩渕会長	それでは、次第の「5 協議」に移ります。本日、ご協議いただく案件は3件でございます。はじめに「(1) 花巻市公共施設等総合管理計画について」、担当の財務部契約管財課公共施設計画策定室から説明をお願いいたします。
小原公共施設計画策定室長	(別途配布した資料に基づき説明)
岩渕会長	担当からの説明がありました。資料は事前送付されておりましたので、皆様お目通しのことと思えます。ご意見ありますでしょうか？

発言者	発言要旨
盛岡委員	計画期間を 40 年としたのはなぜでしょうか？
小原公共施設計画策定室長	総務省の指針では計画期間は 10 年以上とされております。岩手県立大学の先生に相談したところ、長すぎもせず、短すぎもしない 40 年という期間は適当であろうとのアドバイスをいただきました。また、総務省の試算ソフトも 40 年という期間で設定されており、全国的に同じスパンで定めれば、今後において他の例とも比較しやすいだろうと考えたものです。
齊藤委員	将来の生産年齢人口の減少が予測される中で、公共施設の効率的な維持管理を進めるための計画ですが、単に施設の老朽化や利用率だけを捉えて施設の必要性を考えるのではなく、将来のコミュニティ会議のあり方など花巻の未来像に照らし合わせながら考えていただきたいと思います。
小原公共施設計画策定室長	個別の建物に関する詳細な実施計画の策定に関しては、平成 29 年度以降に市民の意見も取り入れながら進めることとしています。
盛岡委員	市民ワークショップなども開催しているようですが、効果はどのようなものでしたでしょうか？
小原公共施設計画策定室長	若い方の参加も多く、40 年先の将来のことを考える機会としては良かったと思います。グループごとの対話では、お互いの考えを尊重しながら様々な意見が出されたように思います。
坂本委員	これまで漠然と感じていたことでしたが、このようにグラフや数字を使いながら示されたことで状況が良く分かりました。見直しをして、なくす勇気も必要だと感じました。このように、市民に分かり易いように工夫し、説明を重ね、理解を求めていくことが大切だと感じています。
岩淵会長	他に意見もないようでございますので、この件に関してはここで終えたいと思います。続きまして 2 件目、「(2) 花巻市まちづくり総合計画第 2 期中期プランについて」、担当の総合政策部秘書政策課から説明をお願いします。
伊藤秘書政策課長	(別途配布した資料に基づき説明)
岩淵会長	担当からの説明がありました。ご意見ありますでしょうか？
坂本委員	資料 46 ページの「施策 3 移動しやすい観光地」についてですが、バスだけでなく観光タクシーについても盛り込んではどうでしょうか？きめ細やかなサービスによって、充実したツアーになったとの声もあるようです。
伊藤秘書政策課長	本文には“バス等”とされておりますが、これにタクシーも含まれるものか担当課にも確認したいと思います。

発言者	発言要旨
坂本委員	また、観光客に対する案内表示については、もっと充実してほしいと思います。
齊藤委員	案内表示の充実については、早急に対応していただきたいものです。観光客が一目でわかるようなものが必要だと思います。新花巻駅だけでなく花巻駅においても必要でしょうし、遠野市の案内表示は分かり易いので参考になるとと思います。
伊藤委員	資料 15 ページの防災力の強化に関する施策の中に、地域福祉の推進として「要援護者台帳等を活用した地域での見守りの実施」との記載がありますが、これは災害対策基本法の改正に伴って「要援護者」を「避難行動要支援者」と改めるべきだと思います。また、資料 81 ページの防犯危機管理体制の充実についてですが、防災情報の市民への発信の仕方については大分改善されましたが、具体の災害対応についてはまだまだ後手に回っているように感じます。また、資料 84 ページでは防災組織の結成割合だけが成果指標として定められていますが、いかなものかと思います。組織数が多くなっても、実際あまり活動していない団体もあります。今後は量よりも質に力を入れる必要がありますので、総合防災計画の下に実施計画を策定してはどうかと考えており、今後市の防災計画を検討する際には提案したいと思っています。さらに、生涯学習についてですが、老年人口の増加が見込まれておりますので、健康づくりやスポーツなど健康寿命の延伸に関する具体的な施策をここに加えてはどうかと思います。健康寿命を延ばすということが、医療費の抑制にも繋がるのです。
伊藤秘書政策課長	不足するのではないかという部分については、担当にも繋ぎたいと思います。また、生涯学習については、健康づくりやスポーツに関する需要の高まりを現状や課題として捉えており、そのための施策が記載されていますが、もう少し踏み込んだものにできるか担当にも聴いてみたいと思います。
阿部委員	これまで数々の計画がありましたが、その成果は検証されているのでしょうか？検証がしっかりとされて、その検証結果を踏まえながら新たな計画が作成されるべきだと思います。また、市長や担当職員がかわることによって継続性が損なわれることはないのでしょうか？多くの事業が盛り込まれていますが、人口減少が見込まれる中で、事業を実施するための財源を確保できるのでしょうか？

発言者	発言要旨
伊藤秘書政策課長	年度ごとに個々の成果指標の進捗状況を確認しながら、必要な事業を実施しています。
八重樫総合政策部長	行政の継続性に関してですが、原則的に市の施策は総合計画に従って進められており、継続性が損なわれないようにしています。現在の総合計画は計画期間を10年としており、今回提案した中期プランは第2期目、平成29年度から平成31年度までを計画期間とし、第1期目の中期プランを検証して見直すべきところを加味したものでございます。このように検証しながら進められているものであることをご理解いただきたいと思います。また、若者が減っていく中で様々な事業を実施していくためにはコスト感覚を持たなければならないということになります。そのために、このプランに合わせた財政計画を立て、それは見込める歳入に応じた歳出を組んでいくということです。
坂本委員	資料108ページの地域医療の充実についてですが、花巻市内には耳鼻科が1か所しかないため、診療に時間を要し、わざわざ北上市にまで行っていることもあるようです。不足する診療科目の充実に取り組んでいただきたいものです。
清水委員	地域医療の充実に関連して、急に不調となった観光客の受け入れがなかなかされないケースもありました。受け入れ態勢の充実に取り組んでいただきたいと思います。
阿部委員	こうした計画の作成にあたって、市職員にはもっと現場に出て、現状把握に努めてほしいものだと思います。
曾我委員	動物の殺処分がもっと減るようにすること、またLGBTに対する取り組みについて記述がないようです。さらに、発達障害についても就学前に分かるような取り組みがほしいのです。
伊藤秘書政策課長	動物の殺処分については県の保健所の所管事項となりますことから本計画に盛り込むのは難しいかもしれませんが、例えば啓発活動などでは協力できることがあるかもしれません。
佐藤地域づくり課長	LGBT関連については、資料154ページの「男女共同参画の浸透」の中に包含されるものと考えています。今回のプランには成果指標の一つに「職場や学校、地域など身のまわりで男女の平等が図られている市民の割合」として、まずは男女が平等であると皆さんに感じていただくことを掲げています。LGBTについては、最近ではテレビなどでも取り上げられていますが、岩手県の男女共同参画センターでも相談窓口が最近になって立ち上げられたところです。現在のプランには記載されておりませんが、市としてもこうした県の動きを見ながら今後の課

発言者	発言要旨
佐藤地域づくり課長	題となるLGBTへの理解の推進に取り組んでいく必要があると考えています。
伊藤秘書政策課長	発達障害の関連については、市内各保育園の巡回を今後も続けていくことでしょうし、関連施設の整備に取り組んでいくこととしております。
小野委員	資料 94 ページの交通安全の推進についてですが、高齢者の運転免許証の返納については、その方にとっては交通手段がなくなることにもなります。現在どのような支援が考えられているのでしょうか？
伊藤秘書政策課長	個々の施策については、今後、皆様にお諮りしながら進めることとなりますが、例えば予約乗合バスなどの公共交通網を充実させることで運転免許証の返納がしやすいような環境づくりを進めていくことになろうと思います。
小野委員	バスだけでなく、タクシーの活用も視野に入れた方が良くもかもしれません。タクシーであれば、利用者は夜間に利用することもでき、時間的な制限がなくなります。例えばですが、タクシー割引券の導入などはタクシー業界にとっても良いのではないのでしょうか？検討いただきたいものです。
齊藤委員	資料 23 ページの農業生産の支援についてですが、市民の声を待つばかりではなく、産学官連携といった横のつながりを活用しながら、もっと行政が主体的になって取り組みを進めていただきたいと思います。
福盛田委員	資料 97 ページの地域福祉の推進についてですが、「民生委員児童委員の負担軽減と活動の充実」との記載がありますが、矛盾する記述のように思います。民生委員児童委員の負担は増える一方のように見受けられますし、そのためか委員の推薦に際しては行政区長が相当に苦勞していると伺っています。いずれにせよ、委員の皆さんには少ない報酬で良くやっていただいていると思います。
岩淵会長	ありがとうございました。他に意見もないようでございますので、この件に関してはここで終えたいと思います。続きまして3件目、「(3) 辺地総合整備計画について」に移ります。この案件に関しては、本委員会の事務局から説明があります。
佐藤地域づくり課長	この案件に関しましては、花巻市地域自治推進委員会条例第2条の規定に基づく本委員会の意見を聴かなければならない案件ということで、市長から会長あてに依頼がございますので、ご協議よろしくお願いたします。

発言者	発言要旨
岩渕会長	それでは、担当の総合政策部秘書政策課から説明をお願いいたします。
伊藤秘書政策課長	(別途配布した資料に基づき説明)
岩渕会長	この案件について、ご意見はありますでしょうか？
阿部委員	災害時における市内河川の護岸などに活用できますか？
伊藤秘書政策課長	辺地計画で対応できる公共施設は決まっています、河川はできません。災害によって損傷した施設の回復は国の事業で対応することになります。
岩渕委員	<p>それでは、本件の原案に賛成するか否かを確認したいと存じます。いかがでございましょうか？</p> <p>(賛成の声あり)</p> <p>原案に賛成するということによろしいでしょうか？</p> <p>(異議なしの声あり)</p> <p>ただ今いただいた意見の内容をもとに、原案に賛成することを本委員会の意見として市長に提出したいと思っております。その内容に関しましては会長に一任とさせていただきたいと思っておりますがよろしいでしょうか？</p> <p>(異議なしの声あり)</p> <p>よろしいとのことですので、調製のうえ、後日市長に提出いたします。その内容につきましては、事務局より皆様にFAXまたは郵送によって報告いたさせます。これをもって本日も協議いただき案件はすべて終了いたしました。ありがとうございました。</p>
佐藤地域づくり課長	岩渕会長ありがとうございました。以上を持ちまして、平成28年度第1回花巻市地域自治推進委員会を閉会いたします。委員の皆様、ありがとうございました。